

令和6年度 廃棄物対策部会 議事概要

(開催要領)

- 1 開催日時：令和6年9月4日（水）9：50～10：20
- 2 場 所：ピュアリティまきび 飛鳥
- 3 出席者：
 - 委員（五十音順、敬称略）
阿部宏史、伊東秀之、菊池玉子、内藤はま子、藤原園子、藤原健史
／計6名（欠席0名）
 - 事務局（県）
循環型社会推進課長、事務局職員

議 題	1 部会長の選出 2 副部会長の指名 3 循環型社会推進課業務について
会議資料	別添資料のとおり
議事概要	<p>【議題1】 部会長の選出 互選により、部会長に阿部委員が選出された。</p> <p>【議題2】 副部会長の指名 部会長から、副部長として藤原園子委員が指名された。</p> <p>【議題3】 循環型社会推進課業務について 事務局から資料に基づき説明した。</p>
-委員意見等- 委員	資料P1（1）の循環型社会形成の推進に加え、環境省が進める循環経済（サーキュラーエコノミー）の取組を県でも広めていかなくてはならない。
事務局	環境省が策定した新たな循環型社会形成推進基本計画を鑑みながら、本県の環境基本計画にも反映させていく必要があると考えている。
委員	海ごみ対策にあたり、漁業者が操業時に引き上げた海底ごみの持ち帰りを習慣化する取組はよいと思う。併せて、操業に使用した網や漁具等を海中に廃棄せず、持ち帰るよう明記してほしい。
事務局	昨年度の瀬戸内オーシャンズXの基金事業として県漁連が実施したモデル事業の成果を踏まえて、今年度は県事業として海底ごみの持ち帰りに対して協力金を支払うこととしている。漁具や生活ごみなど、さまざまな海ごみが漂着しているが、他県に比べ、本県は生活ごみの方が多く印象であり、記載については検討したい。

委員	倉敷市の水島エコワークス（株）が今年度末で事業終了予定のため、今後のリサイクル率に大きく関わってくる問題だと思うが、県から市へ助言等の技術的支援や情報交換は行っているのか。
事務局	県は当該法人の株主でもあり、倉敷市とも意見交換を行っている。事業終了の影響によりリサイクル率が低下する懸念はあるが、引き続き市と連携してまいりたい。